

2006年
11月10日号

1部100円

地球子どもクラブ通信

The Children of Earth's Club

発行 地球子どもクラブ
企画・制作 (株)井田企画
編集人 江森陽弘
〒107-0052 東京都港区赤坂 7-10-9
赤坂伊藤ビル6F
TEL03-3586-2741 FAX03-3586-6293

地球子どもクラブ2006 in 山梨

高田宮憲仁親王妃久子殿下お迎えし、盛大に 第16回小学生・中学生作文・ポスターコンクール授賞式開催

地球子どもクラブ主催の環境イベント「地球子どもクラブ2006 in 山梨」が七月二十五、二十六日、高田宮憲仁親王妃久子殿下(地球子どもクラブ名誉総裁)ご臨席のもと、山梨県甲府市と富士河口湖町で盛大に開催されました。「ぼくたちの地球を守ろう」をテーマに小学生・中学生作文コンクール、同ポスターコンクール授賞式、アジア子ども会議、植樹祭、環境学習、環境コンサート、富士山麓清掃活動など、多彩な行事が行われました。

授賞式には、長岡喜法山梨県実行委員会名誉会長・地球子どもクラブ副会長、高田宮賞、環境大臣賞、優秀賞、地球大使賞、高田宮賞、石井吉徳地球子どもクラブ会長が主催者を代表して「環境問題は深刻化しています。みなさんにおいてほしいことは、今できることは何かを考え、殿下から直接手渡されま

「もったいない」精神で無駄を省き、物を簡単に捨てないということを実践し、環境を大切にしたいということでした。授賞式終了後、「信じられない、とっても嬉しい」と、高田宮賞、環境大臣賞、優秀賞、地球大使賞、高田宮賞、石井吉徳地球子どもクラブ会長が主催者を代表して「環境問題は深刻化しています。みなさんにおいてほしいことは、今できることは何かを考え、殿下から直接手渡されま

高田宮憲仁親王妃 久子殿下のお言葉

皆さん、こんにちは。と皆さん方が通っている。特に海外からいらした学校も、そういう方針が方々、よく日本にいらつあつて、皆さんにそのこ

「ぼくたちの地球を守ろう」をテーマに小学生・中学生作文コンクール、同ポスターコンクール授賞式、アジア子ども会議、植樹祭、環境学習、環境コンサート、富士山麓清掃活動など、多彩な行事が行われました。

「もったいない」精神で無駄を省き、物を簡単に捨てないということを実践し、環境を大切にしたいということでした。授賞式終了後、「信じられない、とっても嬉しい」と、高田宮賞、環境大臣賞、優秀賞、地球大使賞、高田宮賞、石井吉徳地球子どもクラブ会長が主催者を代表して「環境問題は深刻化しています。みなさんにおいてほしいことは、今できることは何かを考え、殿下から直接手渡されま

「初めて日本に来て、い経験になりました。こチトパナム君、タイ・中3」と、授賞の喜びを語ってくれました。



「ぼくたちの地球を守ろう」をテーマに小学生・中学生作文コンクール、同ポスターコンクール授賞式、アジア子ども会議、植樹祭、環境学習、環境コンサート、富士山麓清掃活動など、多彩な行事が行われました。

「もったいない」精神で無駄を省き、物を簡単に捨てないということを実践し、環境を大切にしたいということでした。授賞式終了後、「信じられない、とっても嬉しい」と、高田宮賞、環境大臣賞、優秀賞、地球大使賞、高田宮賞、石井吉徳地球子どもクラブ会長が主催者を代表して「環境問題は深刻化しています。みなさんにおいてほしいことは、今できることは何かを考え、殿下から直接手渡されま

「初めて日本に来て、い経験になりました。こチトパナム君、タイ・中3」と、授賞の喜びを語ってくれました。



先生は、小笠原の大自然でした。

ウミガメとの出会い、ポンコツ車のかたづけ、はじめてのシーカヤック...

様々な体験を通して、環境の大切さについて自ら考え発信できる「環境メッセージ」を育てている

野口 健 小笠原環境学校。

この環境学校はコスモ・ザ・カード「エコ」会員の皆様とコスモ石油グループの環境への思いがひとつになって生まれた「コスモ石油エコカード基金」によって運営されています。

あなたも、コスモ・ザ・カード「エコ」で一緒に始めてみませんか。

コスモ・ザ・カード「エコ」

小笠原でありのままの自然と、仲間に出会った子供たち。たった4日間、すこしずつ大切な何かを感じはじめ自ら考え、行動し、発信できるように...

野口 健 小笠原環境学校で過ごした子供たちのかけがえのない4日間が、インターネットムービーになりました。環境メッセージ-誕生のドキュメントを、コスモ石油のホームページでどうぞお楽しみください。

<http://www.cosmo-oil.co.jp/netmovie/>

開会宣言

環境保全の大切さを感じて欲しい

山梨県実行委員会名誉会長
地球子どもクラブ副会長

長岡 喜法



あいさつする長岡副会長

イジー共和国の十カ国より入賞者十八名、引率者十名の総勢二十八名が来日されております。

本日は高円宮憲仁親王妃久子殿下におかれましては、遠路甲府まで御成りを賜り厚く御礼申し上げます。また、コンクールの名誉総裁として高円宮殿下には長年にわたり御尽力を賜り、一昨年から妃殿下に名誉総裁に御就任いただき重ねて御礼申し上げます。

コンクールを開催して以来、今年で十六回目を迎えました。その間、ポス

来、今年で十六回目を迎えました。その間、ポスターコンクールとアジアガボール、マレーシア、インド、インドネシア、フィリピン、ガラパゴス加国も国内のみならず、今年海外十カ国へと拡



授賞式に望む子どもたち

湖町で富士山のふもとにおける植樹祭と環境コンサートを行う予定になっております。

なほ、この席をお借りして私から次世代を担う子供たちにお願ひしたい

ことは、大きな夢と希望を持って、その達成のためまい進されることである。私は、幼いころから貧しい環境の中で、夢と希望を持って努力し、その結果今日の立場を築くことができた

場を築くことができたからです。それでは、ここで第十賞式、第十三回「アジア守ろう」、小学生・中学生

生作文コンクールおよびポスターコンクールの授賞式、第十三回「アジア守ろう」の開催を言いたします。

テンゴしにのぞいてみました。人にとつての花壇が、鳥にとつて遊び場になっていました。そして、鳥から人に近づいて来てくれたことが、うれしくなりました。家族で話し合っているうちに、「じゃあ、鳥の生活を大事に考えて住み直してみようか」ということになりました。

こうして、我が家は、「花壇・ペランダ大改造」を始めることになりました。花壇には、鳥も食べやすい野菜を植えることにしました。にんじん、大根、さつまいも、さつまいもを植えました。ペランダは、一面土を敷き詰め、朝早く起きた時、小鳥たちが花壇に集まって、砂や土を羽にかけて遊んでいるのを見かけました。「ねえ、お父さん。鳥が遊んでいるよ。」

作文コンクール

高円宮賞

元気の源は生ゴミ

山口県

明新小学校6年

舛本 伶未

花作りの名人の祖母が、今日も花を届けてくれた。「シンビジウムは長持ちするから、学校へ持って行く」といよいよ、にっこり笑って帰って行った。花を見るとほんと

祖父が亡くなって三ヶ月。もう花は作らないと言っていた祖母が、また花作りを始めた。「花が私を呼んでいるような気がする」という祖母。

そんな祖母の名人技は、花を育てる気持ちと、たい肥だ。祖母の家には二つのコンポストがある。大島と言えばミカン。くさったミカンや台

もしないでうれしそうに中をのぞいている。「やっぱりに真似のできることにゃないな」と、つぶやくばかりだった。ゴミを再利用する。口で言うのは簡単だけれど

から得られた野菜や果物、魚をもう一度、自然に返す。祖母が育てる花の美しさの秘密を、名人と言われる秘密を見つけ

私の学校は、昨年校舎屋上を芝生と季節の花々で緑化しました。ヒートアイランド対策としてです。私は入学してすぐ、生徒会の環境委員になりました。屋上緑化を管理できるからです。まだ実際、草むしりはできません。でも先週、屋上に入

た。私には、驚いて跳ね起きた。都会に鳥がいるのが信じられなかったのです。そして、カー

は、以前のように元気になり、せっせと宗竹の増加を抑えることに、防虫剤を作ること

私の住む千代田区は、日中百万人近くの人が集まる都会です。日比谷公園や皇居周辺に緑があり

地球の自然を復活できる日を夢みて

東京都 神田一橋中学校1年 岡部 達美

環境委員一年生の私は、これからは、学校の屋上緑化の草むしりをしたいと思うています。小鳥たちと話しながら、小さな努力から、地球の自然を復活できる日を夢みて。

私たちが地球子どもクラブを応援します。



総合印刷 株式会社 日本制作センター 代表取締役社長 今村 拓哉

本社 〒189-0011 東京都東村山市恩多町1-11-5 TEL 042-394-9511 FAX 042-396-0898 営業所 〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-44-1-8F TEL 03-3987-5511 FAX 03-3982-6322 メディア・ステーション 〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-44-1-9F TEL 03-3590-1271 FAX 03-3987-6953 URL http://www.nsc-web.com

紙器とクリアパッケージの業界に貢献する SGX 株式会社 須賀製作所 〒123-0844 東京都足立区興野1-8-10 TEL 03-3887-0149(代) FAX 03-3849-1149 代表取締役 須賀 一典 http://www.suga-mfg.co.jp

印刷のことならすべておまかせ下さい ART 株式会社 アート・ワタナベ 代表取締役 渡辺 修 〒114-0012 東京都北区田端新町3-33-2 TEL (03)5692-6500 FAX (03)3810-6374

貼り付けるだけで便利な シーレックスのお名前シール

1名様から団体様(学校単位)まで幅広くご注文いただけます。



おけいこ道具セット/アイロシプリント/住所シールなど各種取り揃えております

パーソナルプロダクト部 〒121-0816 東京都足立区梅島1-27-20 シーレックス株式会社 TEL:03-3848-3715

詳しくはコチラへアクセス! シーレックスのお名前シール 検索 http://www.sealex.com/onamae/

環境大臣賞

山村じゆく

福岡県

明治学園小学校5年

栗原 万誉

こんな雑然とした風景は見た事がない。辺りは土砂くずれで岩がむき出しになり、折れた木々が散乱している。土の上には雑草が生え、長い間ほったらかしにされていたのが分かる。僕はテレビで見た、アメリカの台風カトリーナにおそわれたときの映像を思い出した。木を植えないといけないと直観的に思った。

ここは、福岡県八女郡黒木町。家から車で二時間半ほどの所だ。この辺りは、風倒木が多い事で有名らしい。ぼくの家族は、山村じゆくに入会して、荒れた山に木を植える活動に参加する事になった。山村じゆくとは、山の自然を守り、いろいろな生物が住める森にするために木を植えるグループだ。

森林活動をするのは、雨の降っている山の急斜面。足下がすべりやすくなっていた。ぼくと弟は歩いてる時に足をふみはずしてすべり落ちてしまった。天気予報は晴れになった。天気予報は晴れになった。天気予報は晴れになった。

ぼくたちは、たくさん苗木を植えた。植えた苗木は、コナラが百二十本、山桜が四十本にもなった。植え終わると、頭からたくさんのおさがりが出てきた。ぼくはカッパをぬいだ。山の方から風が吹いてきた。山の方から風が吹いてきた。山の方から風が吹いてきた。

いれるとがっんと音がした。長い間に竹の地下茎がはびこっていて、地下茎と石をどけながら土をほつていくのにほねが折れた。ほつた穴に苗木をさした。苗木を四本ずつ一メートル四方の中にまともて植えた。そうすると、競争して良い木が育つぞうだ。苗木をさした穴の後、石ばかりなので穴をうめる土が足りない。だからほかの所をほつてその土でうめたりした。

切り出した雑木を運び、束にする作業。青臭い生木から出る木酢の匂いと炭焼き釜。雨上がり山、スポンジのように水を含んだ地面を踏みしめた裸足の感触。地面から湧き出す透き通った水。忘れられない体験でした。

子供たちに実体験の環境学習を

大教大付属平野中学校3年 柳原 庸平

小学校三年生の春休み、ぼくは姉と、高知県祖母の所へ二人旅をしました。祖母の家は農林業を営んでおり、家の周囲には里山が広がっています。春先の田にはレンゲ草が咲き、牛の糞が広がってありました。山の木陰には雑草の木が規則正しく並べられていて、大きくなった雑草を収穫するのはぼくたちの毎朝の仕事でした。その横には、直径二十センチ位の桶の木が一メートル位の長さに切り揃えられ、これに雑草の菌を埋め込む作業もさせてもらいました。竹や細木を切る作業もしました。

「竹は放つちよくと何ぼでも増えるが、適当に切らなあいかな。細木も一緒で。放つちよいたらヤブになるからね、除けた物は炭や土の栄養になるよ。山からゴミは出んが。いつも山をきれいにしちよくおれるがで。」

こんな話をしながら、祖父は、小さいぼくたちが飽きないように、色々な仕事を体験させてくれました。その後もぼくは、長い休みに帰省し、祖父の手伝いをしますが、里山はその度に違う姿でぼくらを迎えてくれます。間伐、田植え、草刈、収穫期など、季節ごとに必要な手入れを受けながら里山は変わることなく続いていきます。ぼくはそれの中で、山の機能や循環の輪を自然に感じるようになりました。

ところが近年、日本中の里山の危機が叫ばれています。農村の過疎、高齢化で、山を手入れできなくなっているのです。跡継ぎのいない祖父の里山も例外ではありません。「限界集落」という言葉も生まれ、農村の機能が急激に衰え、やがて消える予想される過疎近、ぼくは祖父の言葉を思い出します。山の荒廃は治水や温暖化を通じ、じわじわと都会人の生活をも脅かします。ぼくは、山や川に直接触れる機会が少ない都会っ子に、山村の生活を体験してほしいと思います。だから、小学校の林間学舎や修学旅行で、ぼくが体験したような実地体験型の里山学習を取り入れてほしいのです。それも、自分たちの飲み水を供給する川の上流で、四季を追って、体験を重ねていくべきです。自分たちが受けている自然の恩恵、緑の意味を実感するのは、大きな宝物です。小さい時の実体験は必ず大きくなって環境学習に結びつき、今、ぼくが感じているように、都会人が田舎の荒廃を自分の問題として捉えることにつながると思うからです。そんな子どもの中から、農林業を仕事に選ぶ人も出てくるかもしれません。祖父と焼いた竹炭は、取り替えられながら、今もぼくの家の水槽で水を浄化しています。

編集長コラム

江森 陽弘



ようと思ったのだ。環境問題という、われわれ日本人は、すぐ「見つけよう、未来の地球」とか「温暖化防止の現状と課題」など、きまってきたテーマがほとんどだ。温暖化の数値など並んだ論文など訳が分からない。これらは研究者や対策関係者にまかせておけばいい。

そんなことより、われわれはもっと身近な問題を取り上げるべきだ。日本人が目すべき一番のテーマは「ゴミ」の扱いである。ゴミを出さないこと、不要なものを買わない。このままだと、日本はゴミで埋まると、ゴミの上で生活するようになる。まず、日本人のゴミの扱い方については根本的に変える。日本人はすぐゴミ箱に頼る。ゴミ箱は、いくつあってもすぐ満杯になる。あふれたゴミはゴミ箱の回りに置かれ、その一部は「ゴミの捨て場」になってしまふ。遊園地などでよく見かける無惨な姿だ。

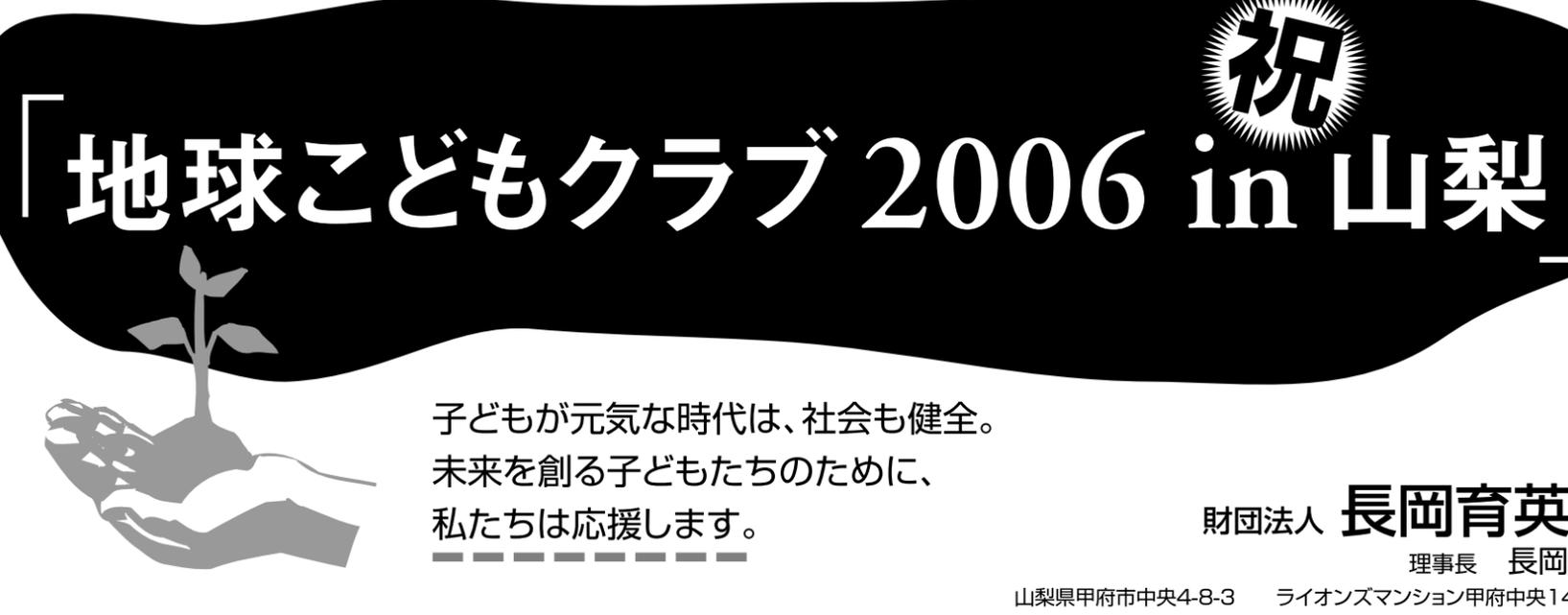
「美しい国へ」

あつた。いまは経済大国ニッポン。物があふれてゴミの処理も複雑だ。そこで、エコロジー教育にふれる。ゴミの分別は幼いころからやらせよう。幼稚園児になったら「お前の仕事だよ」と、きちんと子どもに分担させる。

地球子どもクラブ 2006 in 山梨

- 主催：NPO法人地球子どもクラブ
- 後援：外務省、文部科学省、環境省、山梨県、山梨県教育委員会、甲府市、甲府市教育委員会、富士河口湖町、富士河口湖町教育委員会、NHK、フジテレビ、テレビ朝日、朝日学生新聞社
- 協賛：東京電力(株)、(株)キホー、(株)第一興商、(株)三井物産、(株)日立製作所、東芝(株)、東北電力(株)、中部電力(株)、三菱重工業(株)、関西電力(株)、清水建設(株)、日本原燃(株)、電源開発(株)、石油資源開発(株)、(財)凸版印刷三幸会、ユナイテッド・メディア(株)、北海道電力(株)、四国電力(株)、(株)アルビオン、アオイ産業(株)、(株)井田企画、(株)朝日クリエイティブ
- 助成：財団法人長岡育英会、地球環境基金
- 協力：全日本空輸(株)、コスモ石油(株)
- 特別協力：みずほ銀行

(順不同)



祝 地球子どもクラブ 2006 in 山梨

子どもが元気な時代は、社会も健全。
未来を創る子どもたちのために、
私たちは応援します。

財団法人 長岡育英会
理事長 長岡喜法

山梨県甲府市中央4-8-3 ライオンズマンション甲府中央1402号
Tel. 055-236-0288 Fax. 055-236-0338

富士山裾野を清掃活動

野口健環境学校と合同で 2時間でトラック1台分を回収

コンクール前日の七月二十四日、野口健環境学校の生徒と合同で富士山裾野の清掃を行いました。これには、授賞者のほか、引率、海外通訳の方々も含めて四十一人が参加しました。環境学校の生徒も含めると総勢六十三人の清掃活動となりました。

清掃を始めて、みんなはびっくり。空き缶、PET（ペット）ボトルはもちろん、プラスチック袋、壊れたおもちゃ、果ては古タイヤ、電気洗濯機、スチール製家具など、様々なものが捨てられていました。

日本の受賞者は、「富

大量のゴミが集まった



土山のゴミの話は聞いていたが、想像以上にひどいと、驚きの表情をしていました。また、海外の受賞者は、「どうしてこんなに美しい富士山の裾野に洗濯機や冷蔵庫、トラック一台分のゴミが回っているのか。自分の収でできました。」

授賞式の翌日には、環境コンサートが高円宮妃久子殿下をお迎えして河口湖ステラシアターで行われました。今回のテーマは「富士山の世界文化遺産登録を目指して」。

地球子どもクラブ理事の東てるみさん、同江森陽弘さんの司会でスタートしました。

今回は、当クラブの理事である内海桂子師匠、岡崎友紀さん、森ミドリさん、由紀さおりさんが出演。特別ゲストに小椋



地球子どもクラブ讃歌を発表する小椋佳さん

佳さんをお招きしました。歌、チェレスタの演奏、ハーモニカ演奏、三味線漫談を披露、拍手喝采で大きな盛り上がりがありました。

オープニングでは、長岡喜法副会長が作詞し、それに小椋佳さんが曲をつけた「地球子どもクラブ讃歌」が、小椋佳さんの歌で発表されました。

自然を守り、子供たちの成長を願う長岡副会長の思いを込めた歌詞に、会場に詰めかけた約八百人の観客も賛同。声を合わせて歌う姿も多く見られました。

なお、同曲はCD化されました。



活発に討議する子供たち

「アジア子ども会議」は、甲府市内の富士屋ホテルで開かれました。今回はアルピニストの野口健さんが主催する野口健康学校と合同での開催。司会・進行は野口さん。巧みに子供たちの意見を引き出しました。

前日の富士山裾野の清掃活動での感想を話した子供たちが多く、ショックを受けた様子がありあり。会議で一番注目を集めたのが、今回初参加となったフィジー共和国とガラパゴス（エクアドル）の子供たち。

ガラパゴスの子供たちは、「キャンペーンを組んで環境ポスターをいろいろなどところに貼った。ビーチのゴミ拾い活動を自主的に行っていました。ガラパゴスは観光地となって



発表するガラパゴスの小学生（隣は野口健さん）

各国から活発な意見が 「子どもアジェンダ21宣言」を採択

アジア子ども会議

「アジア子ども会議」子供たちの話でした。本格的にはゴミはほとんど出ませんが、毎週土曜日に各村民全員で清掃活動を行っています。富士山のゴミの量に驚いたと語ったのはフィジーの子供たち。

「私たちの国では、基本ゴミが多いというのが現状で、そんな中、郷土の自然を守ろうと自発的・積極的に活動する子供たちの声はインパクトがありました。」

意見発表の後、全会一致で「私たちは行動することによってゴミのない地球を目指します」「子どもアジェンダ21宣言」として採択されました。

地球子どもクラブ讃歌を発表

約800人が詰めかけた環境コンサート

賞高円宮ポスターコンクール

小学生部門
「懸命にもがく」
シ・エンヒさん
(中国・小5)

中学生部門
「環境を破壊する危険を封印します」
アップヒスト・マトバナム君(タイ・中3)

読者プレゼント

小椋佳作曲、長岡喜法作詞
地球子どもクラブ讃歌のCDを10人に



長岡喜法会長が作詞、番号をお書きの上、下記住所までお送りください。当選発表は商品発送となります。このCDを持ってかえさせていただきます。応募は下記の通り。

〇宛先 〒107-10052 東京都港区赤坂7-10-9 赤坂伊藤ビル6F

〇応募方法 官製ハガキに「地球子どもクラブCD希望」、地球子どもクラブ通信氏名、住所、年齢、電話、読者プレゼント係

私たちの空は 未来につながっています。

2008年ボーイング787就航予定。



A STAR ALLIANCE MEMBER

www.ana.co.jp



写真はイメージです。